

WebReport2.0 Datamart

Company Info JBアドバンス・テクノロジー株式会社 URL <http://www.jbat.co.jp/>

各種DBからデータを抽出し データマートを自動作成してBIの効率性を向上

「WebReport2.0 Datamart」は、BI（ビジネスインテリジェンス）ツール「Web Report2.0」に、データマート作成機能を追加した新製品である。

BIの分析精度を高めるには、情報のリソースとなる各種データベースから、分析に必要な情報のみに絞り込んでデータを収集することが不可欠である。

しかし部分最適化でシステム構築に取り組んできた多くの企業では、多様なデータベースが分散運用されており、データは社内のおちこちに散在している。データの収集は複雑かつ煩雑で、変

換や集計に時間もコストもかかる。

そこで、JBアドバンス・テクノロジーはデータマートを利用した情報活用を提案しようとしている。データマートとは、社内の多様な情報リソースから、BIツールが処理しやすい形式で、データを収集しておくための照会専用データベースである。

データマート利用のメリットとしては、データ収集時にデータの絞り込みや集計を事前実行するので、BI活用時のレスポンスが向上することや、基幹データベースに負荷をかけることなく

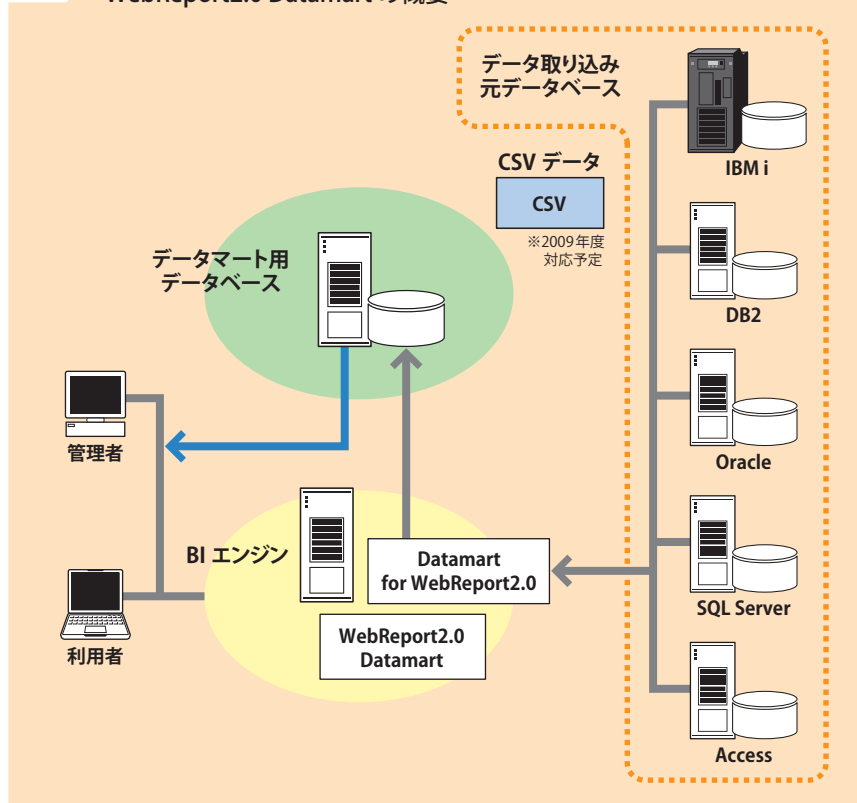
分析が可能になることなどが挙げられる。またこれまでExcelなどを使って手作業で実行していた異なるデータの分析、例えばCSVとDB、基幹システムと情報系システムなどを連携させた分析の準備を自動化できる。

WebReport2.0 Datamartでは、データ取り込み元データベースとして、IBM iのDB2/400をはじめ、DB2、Oracle、SQL Server、Accessなど多様なDB製品に対応している（CSVデータの取り込みは2009年度中に対応予定）。ただしデータマート用DBはWindows 2003 Serverをベースとしており、対応可能なのはDB2、Oracle、SQL Serverの3種類。

通常こうした多種多様なDB製品からデータを抽出する場合、例えばData AnywareなどのEAI/ETLツールを使用して、データ連携システムを別途構築する必要があった。しかしデータマートへの情報連携とデータマートを利用したデータ分析に利用目的が限定される場合は、この製品1つで実現可能になる。

①

図表 WebReport2.0 Datamartの概要



Product Information

- 発売：2009年4月
- 価格：オープン価格
- 稼働環境：Windows、UNIX、Linux（Windows Server 2008やLinuxは今後対応）
- 参考URL：http://www.jbcc.co.jp/products/jbcc_soft/4s_webreport/